



身体拡張とその社会受容性検証の試み

宮脇 陽一（機械知能システム学専攻 教授）

2022. 8. 2

12:15~12:45 @Zoom
(発表15分、Q&A15分)

私たちの脳は、生まれ持った身体部位を自由に動かせるように学習し、発達していきます。では、もし全く新しい身体の部位を手に入れることができたとき、脳はそれを自分の身体の一部として受け入れることができるのでしょうか？こうした疑問に答えるべく、我々の研究グループではヒトの手に新たな指を追加する「**第6の指**」プロジェクトに取り組んでいます。これまでの研究により、この「第6の指」が知覚、行動、脳活動の観点において**身体化**しうる証拠を得ることに成功しました。今回は、これらの最新の研究成果を皆さんと共有したいと思います。また、こうした身体拡張技術が社会に受け入れられるのかを大規模に調べる現在まさに**進行中の社会実験**についてもご紹介します。



研究分野 生物・生命工学、情報科学、医用・生体工学

keyword 脳活動計測、fMRI、機械学習、脳機能拡張

対象 電気通信大学教職員、学生

参加申込 Webサイトのフォームからご登録ください。



COMPASS meetupは、学内研究者がどんな研究をしているのかを知る機会として、お昼休みに定期的で開催しています。本学の教職員・学生はどなたでも聴講可能です。気軽にご参加ください。

【お問い合わせ】
電気通信大学研究戦略推進室URA
compass@ura.uec.ac.jp